

## ■ みんなで一緒にやってみよう「子ども防災キャンプ」

(矢倉学区未来のまち協議会 元気な子ども育成推進部会)

### 1 【活動の趣旨】

日本の様々な地域で地震や水害が発生する昨今、子どもでも何ができるかを一緒に考えて、体験を通して不測の事態に備えられるよう防災意識を持ってもらう。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○「常に班で活動をする」

申込児童（小学校3～4年生）は、初めて顔を合わせる子どもが大半だが、お互いに声をかけ、気遣いながら班で行動をすることで、非常時のコミュニケーションの大切さを知る。



【ペグの固定に緊張】

#### ○「お風呂じゃないお風呂!？」

各家庭で当たり前のようにお風呂に入る生活から一変、順番に入るというルールを守って、屋外でドラム缶に入浴する。シャワーもなく、限られた水を大切に使うことを学ぶ。



【安全に入浴できるよう工夫】

#### ○「調理実習」

お肉や野菜を串に刺してバーベキューを準備する。自分の好きな具材だけを選択せず、周りとのバランスを考えて準備を進める。

限られた食材で、どうすれば全員にいきわたるのか、と思いやる心を持つ。



【相談しながらの作業】

### 3 【実施に当たっての工夫】

- ・初めて保護者から離れて一泊する子どもが多いので、トラブル等発生を未然に防ぐために、ボランティアスタッフの見守りを重視した。
- ・夏の気温の高い時期だったので、体調管理に充分注意した。

### 4 【事業の成果】

- ・子どもたちが与えられた作業をこなすのではなく、コミュニケーションを取りながら協力し、創意工夫をすることの大切さを学んだ。
- ・災害時の対応の方法や安全の確保について、身をもって学ぶことができた。

### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・夏休みに実施する1泊2日の事業のため、高温の中での作業になり、参加した子どもたちもボランティアスタッフも体調管理にかなり重点を置いた。
- ・これまで参加したOB、OGが、初めて参加する子どもたちのリーダーとして活躍できるように内容を工夫していきたい。